

教員推薦図書 2021年5月

推薦教員	日本伝統文化学科 教授 山下 琢巳 先生	【推薦コメント】 菊池寛の「マスク」が文芸誌『改造』に発表されたのは1920年（大正9年）7月号。日本では1918年8月～1919年3月にスペイン風邪（インフルエンザ・パンデミック）の第1波に見舞われ、第2波は1919年12月～1920年3月、そして第3波は1920年12月～1921年3月であった。すなわち、この掌編は第2波と第3波の狭間に発表されている。 人一倍体の弱い主人公は感染を恐れうがいやマスクで感染予防を徹底。しかし、感染が下火になった1920年の5月、マスクをしないで外出。すると、黒いマスクをした23、4の青年に出会いなんともいえない不快感を覚える。この感覚はなんなのか？ 文庫本には、同時期の感染症に直面した人々の心情を描く「神の如く弱し」「簡単な死去」も収録されている。一読あらんことを。
書名	マスク スペイン風邪をめぐる 小説集 (文春文庫)	
著者名	菊池寛著	
出版社	文藝春秋	
請求記号	901120527	
資料ID	913.6 / Kik	